

(40) みつば

病害虫	防除法	参考事項																
菌核病	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <p>1 施設内の換気を良くし、湿度をできるだけ下げる。</p> <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 ベンレート水和剤を種子重量の0.5%種子粉衣するか、24時間種子浸漬する。</p> <p>2 軟化栽培では、ロブラール水和剤を伏込み時に土壌かん注する。又は根株養成期の地上部切り取り前に散布する。</p>																	
立枯病(リゾクトニア菌)	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <p>1 水耕栽培では、パネルを蒸気又は温湯で消毒する。</p> <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 リゾレックス粉剤を全面土壌混和する。</p> <p>2 リゾレックス水和剤を株元にかん注する。</p> <p>3 水耕栽培では、モンカット水和剤50を散布する。</p>																	
灰色かび病	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <p>1 施設内の換気を良くし、湿度をできるだけ下げる。</p> <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 微生物殺菌剤</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">薬剤名</th> <th style="width: 50%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アグロケア水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>インプレッションクリア</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エコショット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポトキラー水和剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クリーンカップ</td> <td>銅剤との混合剤</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 下記薬剤のいずれかを処理する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 100%;">薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アミスター20フロアブル</td> </tr> <tr> <td>スミブレンド水和剤</td> </tr> <tr> <td>ハーモメイト水溶剤</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	備考	アグロケア水和剤		インプレッションクリア		エコショット		ポトキラー水和剤		クリーンカップ	銅剤との混合剤	薬剤名	アミスター20フロアブル	スミブレンド水和剤	ハーモメイト水溶剤	
薬剤名	備考																	
アグロケア水和剤																		
インプレッションクリア																		
エコショット																		
ポトキラー水和剤																		
クリーンカップ	銅剤との混合剤																	
薬剤名																		
アミスター20フロアブル																		
スミブレンド水和剤																		
ハーモメイト水溶剤																		
根腐病(ピシウム菌)	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <p>1 水耕栽培では、パネルを蒸気又は温湯で消毒する。</p> <p>2 ECを高めに管理する。</p>	○ 水耕栽培で多発しやすい。																
てんぐ巢病	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <p>1 春播きでは厚播きにする。</p>	<p>○ 病原菌はファイトプラズマで、これを保毒したヒメフタテンヨコバイによって媒介される。</p> <p>○ 発病株は7月中旬頃から多くなる。</p> <p>○ レタス、しゅんぎく、ねぎ、ほうれんそう、セリ、エゾギク、ニチニチソウなどにも発生する。</p>																
べと病	<p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <p>1 下記薬剤のいずれかを散布する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 100%;">薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アリエッティ水和剤</td> </tr> <tr> <td>ダコニール1000</td> </tr> <tr> <td>ランマンフロアブル</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	アリエッティ水和剤	ダコニール1000	ランマンフロアブル													
薬剤名																		
アリエッティ水和剤																		
ダコニール1000																		
ランマンフロアブル																		

病害虫	防除法	参考事項																		
キタネグサレセンチュウ	<p>(薬剤防除) 農業登録情報【センチュウ類】・【ネグサレセンチュウ】 ・共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照する。</p> <table border="1" data-bbox="359 286 1118 629"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クロルピクリンくん蒸剤</td> <td>センチュウ類での登録</td> </tr> <tr> <td>D-D</td> <td>ネグサレセンチュウでの登録</td> </tr> <tr> <td>石灰窒素50</td> <td>センチュウ類での登録</td> </tr> <tr> <td>石灰窒素55</td> <td>センチュウ類での登録</td> </tr> <tr> <td>粒状石灰窒素55</td> <td>センチュウ類での登録</td> </tr> <tr> <td>カルメート55</td> <td>センチュウ類での登録</td> </tr> <tr> <td>カルメート60</td> <td>センチュウ類での登録</td> </tr> <tr> <td>粒状石灰窒素40</td> <td>センチュウ類での登録</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	備考	クロルピクリンくん蒸剤	センチュウ類での登録	D-D	ネグサレセンチュウでの登録	石灰窒素50	センチュウ類での登録	石灰窒素55	センチュウ類での登録	粒状石灰窒素55	センチュウ類での登録	カルメート55	センチュウ類での登録	カルメート60	センチュウ類での登録	粒状石灰窒素40	センチュウ類での登録	
薬剤名	備考																			
クロルピクリンくん蒸剤	センチュウ類での登録																			
D-D	ネグサレセンチュウでの登録																			
石灰窒素50	センチュウ類での登録																			
石灰窒素55	センチュウ類での登録																			
粒状石灰窒素55	センチュウ類での登録																			
カルメート55	センチュウ類での登録																			
カルメート60	センチュウ類での登録																			
粒状石灰窒素40	センチュウ類での登録																			
ハスモンヨトウ	<p>(予防に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 防虫ネット等の使用により、成虫の飛来及び産卵を防ぐ。 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 3 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫ネットによる被覆や防蛾(か)灯(黄色灯)の夜間点灯を行う。 4 施設栽培においては、栽培終了後に蒸込み処理を行う。 <p>(判断、防除に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 3 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 4 作物残さを適切に処分する。 <p>(薬剤防除) 農業登録情報【ハスモンヨトウ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 交信かく乱剤 <table border="1" data-bbox="359 1227 742 1346"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヨトウコンーH</td> </tr> <tr> <td>コンフェューザーV</td> </tr> </tbody> </table> 2 BT剤 ハスモンヨトウの防除 <table border="1" data-bbox="359 1435 742 1671"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エコマスターBT</td> </tr> <tr> <td>クオークフロアブル</td> </tr> <tr> <td>サブリナフロアブル</td> </tr> <tr> <td>デルフィン顆粒水和剤</td> </tr> <tr> <td>フローバックDF</td> </tr> </tbody> </table> 3 発生初期にアフーム乳剤を散布する。 4 コテツフロアブル又はスピノエース顆粒水和剤も使用できる。 ※ BT剤を除き、伏込み栽培の場合は伏込み前までに散布する。 	薬剤名	ヨトウコンーH	コンフェューザーV	薬剤名	エコマスターBT	クオークフロアブル	サブリナフロアブル	デルフィン顆粒水和剤	フローバックDF										
薬剤名																				
ヨトウコンーH																				
コンフェューザーV																				
薬剤名																				
エコマスターBT																				
クオークフロアブル																				
サブリナフロアブル																				
デルフィン顆粒水和剤																				
フローバックDF																				

病害虫	防除法	参考事項												
<p>ヨトウムシ</p>	<p>(予防に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 防虫ネット等の使用により、成虫の飛来及び産卵を防ぐ。 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 3 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫 ネットによる被覆や防蛾(が)灯(黄色灯)の夜間点灯を行う。 4 施設栽培においては、栽培終了後に蒸込み処理を行う。 <p>(判断、防除に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に 薬剤散布等を実施する。 3 作物残さを適切に処分する。 <p>(薬剤防除) 農業登録情報【ヨトウムシ】・【ヨトウガ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 交信かく乱剤 <table border="1" data-bbox="359 678 1121 757"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンフェューザーV</td> <td>ヨトウガでの登録</td> </tr> </tbody> </table> 2 BT 剤 <table border="1" data-bbox="359 824 742 1137"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>エスマルクDF</td></tr> <tr><td>エコマスターBT</td></tr> <tr><td>クオークフロアブル</td></tr> <tr><td>サブリナフロアブル</td></tr> <tr><td>チューンアップ顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>トアロー水和剤CT</td></tr> <tr><td>フローバックDF</td></tr> </tbody> </table> 3 発生初期にアフーム乳剤を散布する。 	薬剤名	備考	コンフェューザーV	ヨトウガでの登録	薬剤名	エスマルクDF	エコマスターBT	クオークフロアブル	サブリナフロアブル	チューンアップ顆粒水和剤	トアロー水和剤CT	フローバックDF	
薬剤名	備考													
コンフェューザーV	ヨトウガでの登録													
薬剤名														
エスマルクDF														
エコマスターBT														
クオークフロアブル														
サブリナフロアブル														
チューンアップ顆粒水和剤														
トアロー水和剤CT														
フローバックDF														
<p>アブラムシ類</p>	<p>(薬剤防除) 農業登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 下記薬剤のいずれかを散布する。 <table border="1" data-bbox="359 1283 742 1507"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>アドマイヤー顆粒水和剤※</td></tr> <tr><td>ウララDF※</td></tr> <tr><td>ダントツ水溶剤</td></tr> <tr><td>トレボン乳剤※</td></tr> <tr><td>モスピラン顆粒水溶剤※</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 伏込み栽培の場合、いずれの薬剤も伏込み前までに散布する。</p> 	薬剤名	アドマイヤー顆粒水和剤※	ウララDF※	ダントツ水溶剤	トレボン乳剤※	モスピラン顆粒水溶剤※							
薬剤名														
アドマイヤー顆粒水和剤※														
ウララDF※														
ダントツ水溶剤														
トレボン乳剤※														
モスピラン顆粒水溶剤※														
<p>ハダニ類</p>	<p>(薬剤防除) 農業登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 下記薬剤のいずれかを散布する。 <table border="1" data-bbox="359 1619 742 1769"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>アフーム乳剤</td></tr> <tr><td>カスケード乳剤</td></tr> <tr><td>コロマイト乳剤</td></tr> </tbody> </table> 	薬剤名	アフーム乳剤	カスケード乳剤	コロマイト乳剤									
薬剤名														
アフーム乳剤														
カスケード乳剤														
コロマイト乳剤														